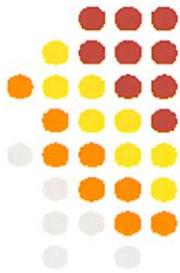


プログラム修了者からみた  
本プロジェクトの効果



澁谷工業株式会社  
徳島 伸彰

平成17年度プロジェクト参加者

派遣先企業：澁谷工業株式会社

課題名：ステレオ方式を用いた  
ボトル容器内外の異物判定

# インターンシップ (平成17年度)を振り返って

澁谷工業(株)  
徳島伸彰

- 研修先： 澁谷工業(株)
- 研修テーマ：画像処理開発技術の習得と  
画像アルゴリズムの開発
- 研修期間： 平成18年2月～3月

## 研究概要 (テーマ名:ステレオ方式を用いた ボトル容器内外の異物判定)

### ■ 目的:

1つのカメラでボトル内外の異物位置判定をするのは難しく、2つのカメラ(ステレオ方式)にて異物判定画像処理アルゴリズムを開発したい

### ■ 結果:

2つのカメラを用いたステレオ方式による、ボトル容器の表面および内外の異物判定ができた

## インターンシップ中の感想

- 研究テーマと異なった知識を得ることができた。
- 学生ながら社会人として活動できた。
- 誰に聞いていいかわからないことがあった。
- 研究期間が短かった。



## 入社当時に感じた感想

- 会社全体の雰囲気を経験していたため、入社前後でイメージのギャップが少なかった。



## 地元企業の社員として 大学への要望、改善点

- 研修期間の延長。
- 学内の研究だけでなく、社会とつながる授業の開講。
- 大学院生だけでなく、学部生にも産学連携活動の展開。
- 製図ソフトにふれる時間を。